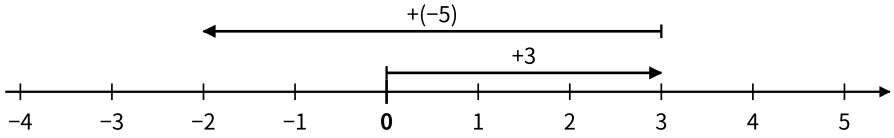
ポイント ★1 異なる符号の2数の和

- **異なる符号の2数の和**は、絶対値の**大きいほうから小さいほうをひき**、絶対値の**大きいほうの符号**をつける。
- $(+3)+(-5)=-(5-3)=-2$（下の数直線）　$(-3)+(+8)=+(8-3)=+5$
- 絶対値が等しい異なる符号の2数の和は 0。$(-6)+(+6)=0$　ある数と 0 の和は、その数自身。$(-9)+0=-9$



例題1 異なる符号の2数の和

次の計算をしなさい。 (1) $(+4)+(-11)$　(2) $(-2.5)+(+4)$　(3) $\left(-\frac{5}{6}\right)+\left(+\frac{3}{8}\right)$

解き方 (1) 絶対値の差 $11-4=7$ に、絶対値の大きい -11 の符号 $-$ をつける。 **答** -7　(2) $4-2.5=1.5$ に $+$。 **答** $+1.5$

(3) 通分して $\left(-\frac{20}{24}\right)+\left(+\frac{9}{24}\right)$。$\frac{20}{24}-\frac{9}{24}=\frac{11}{24}$ に $-$ をつける。 **答** $-\frac{11}{24}$

たしかめ

次の計算をしなさい。

(1) $(+8)+(-3)$　**(2)** $(-11)+(+4)$　**(3)** $(+5)+(-14)$　**(4)** $(-9)+(+16)$

答　答　答　答

(5) $(+13)+(-13)$　**(6)** $(-25)+(+17)$　**(7)** $(+32)+(-48)$　**(8)** $(+27)+(-19)$

答　答　答　答

(9) $(-7)+0$　**(10)** $0+(-15)$　**(11)** $(+1.5)+(-3.2)$　**(12)** $(-0.7)+(+2.3)$

答　答　答　答

(13) $\left(-\frac{1}{2}\right)+\left(+\frac{1}{3}\right)$　**(14)** $\left(+\frac{2}{5}\right)+\left(-\frac{1}{2}\right)$　**(15)** $\left(-\frac{7}{6}\right)+\left(+\frac{2}{3}\right)$　**(16)** $\left(+\frac{3}{4}\right)+\left(-\frac{3}{4}\right)$

答　答　答　答

解答（答えと短い解き方）

正負の数 基礎① 異なる符号の2数の和

たしかめ

(1) $+5$

異なる符号。
$8-3=5$。絶対値の大きい $+8$ の符号をつける。

(2) -7

異なる符号。
$11-4=7$。絶対値の大きい -11 の符号をつける。

(3) -9

異なる符号。
$14-5=9$。絶対値の大きい -14 の符号をつける。

(4) $+7$

異なる符号。
$16-9=7$。絶対値の大きい $+16$ の符号をつける。

(5) 0

絶対値が等しい異なる符号の2数の和は 0。

(6) -8

異なる符号。
$25-17=8$。絶対値の大きい -25 の符号をつける。

(7) -16

異なる符号。
$48-32=16$。絶対値の大きい -48 の符号をつける。

(8) $+8$

異なる符号。
$27-19=8$。絶対値の大きい $+27$ の符号をつける。

(9) -7

ある数と 0 の和は、その数自身。

(10) -15

ある数と 0 の和は、その数自身。

(11) -1.7

異なる符号。
$3.2-1.5=1.7$。絶対値の大きい -3.2 の符号をつける。

(12) $+1.6$

異なる符号。
$2.3-0.7=1.6$。絶対値の大きい $+2.3$ の符号をつける。

(13) $-\dfrac{1}{6}$

通分して $\left(-\dfrac{3}{6}\right)+\left(+\dfrac{2}{6}\right)$。
$\dfrac{3}{6}-\dfrac{2}{6}=\dfrac{1}{6}$ に、絶対値の大きいほうの符号 $-$ をつける。

(14) $-\dfrac{1}{10}$

通分して $\left(+\dfrac{4}{10}\right)+\left(-\dfrac{5}{10}\right)$。
$\dfrac{5}{10}-\dfrac{4}{10}=\dfrac{1}{10}$ に、絶対値の大きいほうの符号 $-$ をつける。

(15) $-\dfrac{1}{2}$

通分して $\left(-\dfrac{7}{6}\right)+\left(+\dfrac{4}{6}\right)$。
$\dfrac{7}{6}-\dfrac{4}{6}=\dfrac{3}{6}$ に、絶対値の大きいほうの符号 $-$ をつける。約分して $-\dfrac{1}{2}$。

(16) 0

絶対値が等しい異なる符号の2数の和は 0。